

第14回 ゴールドシュミット会議 2016 LOC 委員会 議事録

日時： 2015年11月21日 10:00~12:00

場所： JAMSTEC 東京事務所

出席者：益田、平田、原田、大隅、鈴木（淳）、下田、鈴木（勝）、坂本、山本、鍵、野尻、（コンベンションリンケージ）永川、茶川、（JTB）日下

報告事項

・ショートコース

講師への依頼が進んでいる。Elsevier、Wiley ともプレゼンテーションに関するセミナーを計画している。GS と共に両方で調整をしてもらい、両者から支援を受けられる予定である。

・ワークショップ関係

Web の申し込みに17件の応募があった。技術的問題で Web に登録されなかった3件も加えて、合計20件。Web 登録がうまく行かなかった JAMSTEC から栄養塩関係のワークショップが1件申し込まれる。（参考：2015年は11件）内容を確認の上、サイエンスコミッティーでレビューを行う予定。

・会場関係

10/24 に化学連合有志のコンサートのリハーサルを見学（現在は PacifiChem の練習で多忙）

Conference dinner のメニューは Jacquie が確認し決定した。

キリンホールディングと現在交渉中（工場見学など）

・科学委員会

予想以上に多くの提案が集まり、提案を merge する作業を行っている。今後、レビューを行う。Plenary Lecture (EAG 会長、GAST Lecture、Bioscience fund 関係が fix) にあと二つ枠があり、内容について検討中。クリスマス休暇前にデータをアップする予定。その後、keynote speaker を決める。

・エクスカーション関係

これまでの 11 コースが加えて、新たに糸魚川がコースに加わった。12 コースが年末に提案される予定。12月までに人数の枠と予算を決定する。あくまでJTB主催旅行という位置づけであるので、ボランティアで巡検のお世話をしてくれる人への配慮が必要。参加者から少額の準備金を集め、下見などにかかった経費に充当できるようにする予定である。

・スポンサー関係

申し込み状況に変わりはないが、何件か問い合わせがあった。

審議事項

・学生支援

メンタープログラム（主として食事代のみ）は LOC でお金を準備する。・評議員メンバーでLOCメンバー以外の方にはメンタープログラムに入ってもらうようお願いする。

・ショートコースをメインにして Agilent などいくつかの会社によるサポートが予定されている。

学生支援は以下の3通りが考えられる。

①アルバイト：支援を希望する学生は2日間運営スタッフとして働いて、一人あたり4万円を支払う。プラハでは60名を雇った。日本人だけでなく、外国人学生からの応募も考えられるので両者の人数の割合などを今後検討の余地がある。日本人学生の積極的な参加が望まれる。

②登録無料：アブストラクトを審査して登録無料となる学生を選ぶ。

③旅費支援：旅費としてお金を渡す可能性。たとえば10名程度。GSと相談の結果、認められれば審査の仕組みを検討する必要がある。